

《担当者名》専任教員 / 秋元 奈美 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 千葉 利代 / 山形 摩紗

【概要】

1年次で修得した歯科保健指導の基本的な知識・技能・態度をもとに、各場面に適した歯科衛生教育の実施に向け、対象者を把握し、対象別に指導ができることを目的とする。

【学修目標】

以下の点について学習する。

歯科保健指導の対象となる各年齢層の特性を理解する。

歯科疾患予防に関する知識を整理し、対象別に歯科保健指導を実施することができる。

ライフサイクルに適した栄養指導の説明ができる。

歯科疾患予防のための生活指導および栄養指導について説明できる。

ライフサイクルに適した口腔保健管理について説明できる。

要介護高齢者や心身障がい者の歯科的特徴と歯科保健指導における留意点が説明できる。

高齢者のQOLの向上へ向け、高齢者の身体的、社会的および精神的特徴を理解した上で、高齢者の口腔機能を回復・増進させる口腔保健管理上の知識・技術・態度を系統的に修得できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	エプロンシアターの活用法	講義・演習 エプロンシアターの作成を通して、教材媒体のテーマの構成、対象者へのモチベーション、活用法、話法を学ぶ。	秋元 奈美
3 ) 4	患者（対象者）からの情報収集 1. 主観的情報の把握 2. 医療面接 全身の健康状態の把握	講義・演習 情報の整理方法を学ぶ 初診時における問診と医療面接について理解する 疑似患者を通して、歯科保健指導時における面接技術を習得する	秋元 奈美
5 ) 7	染色・チャージング・Br指導	実習 染色の手順および注意点を守り操作する 口腔内の状態を読み取り、改善に導くブラッシング指導を実践する 対象者に対してコミュニケーションを身につける	秋元 奈美
8 ) 9	特殊歯ブラシ・補助清掃用具 1. 電動歯ブラシ 2. 音波歯ブラシ 3. ウォーターピック 4. エアフロス	実習 各種特殊歯ブラシと各種補助清掃用具の特性と使用目的・使用方法を理解する。 各種特殊歯ブラシと各種補助清掃用具を実際に使用することにより、各々の利点および欠点を体得する。	秋元 奈美
10 ) 11	術者磨き	実習 対象者に対して染色を実践する。 歯ブラシ、デンタルフロスの操作方法を理解し、実践する。	秋元 奈美
12 ) 14	問診、染色、Br指導、補助清掃用具指導	実習 染色の手順および注意点を守り操作する 口腔内の状態を読み取り、改善に導くブラッシング指導、補助清掃用具の指導を実践する 対象者に対してコミュニケーションを身につける	秋元 奈美
15 ) 16	実技試験に向けて復習、練習	実習 デンタルフロスの指巻き法の実践	

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
17 ┆ 18	デンタルフロス実技試験	実技試験を行う	
19	食生活指導の為の基礎知識 1. 我が国における国民の健康課題 2. 食品と齲蝕誘発性	講義 食生活と齲蝕発生との関連について説明できる。 食生活と齲蝕との関連を示した疫学調査を説明できる。 齲蝕を予防するための食生活について説明できる。 齲蝕予防ならびに歯周疾患予防のための栄養指導、生活指導について理解する。 食品の齲蝕誘発性能について説明できる。	秋元 奈美
20	食生活指導の為の基礎知識 1. 代用甘味料 2. 歯周病と食生活 3. 酸蝕症と食生活 4. 特別用途食品と保健機能食品	講義 う蝕予防の為の代用甘味料の利用法について説明出来る 歯周病と酸蝕症の食生活の関りを説明できる 特別用途食品と保健機能食品について説明する	秋元 奈美
21	保健行動支援の為の基礎知識 1. 行動変容に関連する理論 (1) 健康信念モデル (2) 学習理論 (3) 社会的認知理論 (4) 変化のステージモデル (5) ミドリモデル  2. 行動変容を促進する促進する理論の実践 (1) ストレスとコーピング (2) 認知行動療法	講義 効果的な歯科保健指導や健康教育・健康相談を行うためのコミュニケーションの過程を学ぶ。 歯科保健指導を行うための適切な話法を説明できる。 行動変容のステップを説明できる。 認知行動療法について説明する。	秋元 奈美
22	禁煙指導 1. 喫煙状況のアセスメント 2. 禁煙ステージのアセスメントと禁煙支援のポイント 3. 禁煙ガイドライン 4. 薬物療法	講義 喫煙と関連のある口腔疾患および症状を学ぶ。 禁煙支援に必要な禁煙ステージを把握する。 各ステージに合った支援より、効果的に行動変容を促進するステップを学ぶ。	秋元 奈美
23	口臭 1. 口臭の原因 2. 口臭の分類と治療必要度 3. 口臭検査の目的 4. 口臭検査法と判定 5. 口臭の予防と保健指導 6. 口臭測定器	講義・実習 口臭の原因と分類、治療必要度について理解する。 口臭の予防方法を知り、口臭症患者に対する保健指導について説明できる。	秋元 奈美
24	生活環境と生活背景の把握 1. 虐待への対応 口腔の器質的問題の把握 地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割 1. 保健所、市町村保健センター 2. 保育所、幼稚園 3. 学校 4. 事業所 6. 在宅（居宅）、介護・社会福祉施設	講義 虐待の種類を説明する。 虐待の防止について説明する。 虐待の早期発見における歯科医療従事者の役割について説明する。 歯科衛生教育活動における歯科衛生士の役割と関連法規について理解する。 対象となる地域・機関の特性と、そのニーズを把握する。	秋元 奈美
25	特別な配慮が必要な方への対応 1. 要介護高齢者への対応 口腔機能管理に関わる指導 生活習慣の指導	講義 要介護高齢者の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 口腔機能管理に必要な知識を習得し、指導に繋げる各ライフステージ別の生活習慣指導を実施できる。	秋元 奈美

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
26 ) 27	摂食・嚥下リハビリテーション 1. 摂食・嚥下に関わる口腔の構造 2. 摂食・嚥下の過程 3. 摂食・嚥下障害の評価方法 4. 摂食・嚥下における間接訓練・直接訓練の位置づけ	講義 口腔機能の発達を理解したうえで、摂食・嚥下障害を引き起こす要因を説明する。 摂食・嚥下障害に対応した訓練内容を述べる。 嚥下訓練としての間接訓練と直接訓練の内容を説明する。 歯科衛生士の専門性を活かした口腔ケアについて考察する。	秋元 奈美
28	口腔ケア	講義 口腔ケアが必要な口腔内の状態を知る 口腔ケアの手順を理解する 口腔ケアの方法を説明する 粘膜ブラシ、スポンジブラシ、舌ブラシ、義歯ブラシの操作方法を習得する	秋元 奈美
29	大規模災害被災者 非感染性疾患	講義 歯科保健医療のアセスメントと支援活動を説明できる 非感染性疾患の種類と口腔管理衛生指導を説明で知る	秋元 奈美
30	まとめ	演習・講義 2年次に学習した当該科目の振り返りをするために必要な知識をまとめ、試験対策の準備をする。	秋元 奈美

#### 【授業実施形態】

##### 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験・・・90%

提出物・・・5%

授業態度・・・5%

以上を総合的に判断する

#### 【教科書】

「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論／歯科保健指導論」医歯薬出版

「最新歯科衛生士教本 保健生態学」医歯薬出版

#### 【参考書】

「新歯科衛生士教本 歯科保健指導」医歯薬出版

「最新歯科衛生士教本 口腔保健管理」医歯薬出版

「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科第2版」医歯薬出版

「最新歯科衛生士教本 障害者歯科第2版」医歯薬出版

#### 【学修の準備】

予習（15分）：指定した教科書の授業内容に対応する項目を事前に読んでおくこと。

復習（45分）：専門用語を覚え、記述できるようにすること。

#### 【実務経験】

岡橋 智恵（歯科衛生士）

大山 静江（歯科衛生士）

千葉 利代（歯科衛生士）

山形 摩紗（歯科衛生士）

秋元 奈美（歯科衛生士）

#### 【実務経験を活かした教育内容】

歯科衛生士としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う